

平成三〇年度 まなびい交流倶楽部

金  
デ  
継  
グ

作品展

「金継ぎ<sup>きんつぎ</sup>」とは、割れたり欠けたりした器を

漆で接着し、継ぎ目に金や銀、白金などの粉を  
蒔いて装飾する、日本独自の修繕法です。

それは、日本人の持つ、もったいない、という  
精神と、修繕後の継ぎ目を、景色、と称して、

その趣を楽しむ独特の美意識から生まれた伝統  
文化です。